

痒い所に手が届くキヤノンCTのおすすめ機能



RawData画面

10年ほど前からRawData画面のGUIが一新され、スキャン計画中に『再構成詳細』を開いたときと同じ操作性に変わりました。その操作の中でもちょっとした便利な使い方をご紹介します！

■ 簡便にFOVをC-FOVと等倍に設定できる

例えば冠動脈撮影をしたとき、その患者さんは息止めができていたかどうか確認したい場合FOVを広げて再構成しますよね。そんなときは[ROI] をクリックしたあとに『D-FOV』と書かれた文字そのものをダブルクリックすることでC-FOVと等倍の大きさを指定できます。

RawData画面



■ 再構成範囲とFOVをスキャングラム上で設定

再構成範囲やFOVを、スキャン計画時と同じようにスキャングラム上で設定することができます。

RawData画面

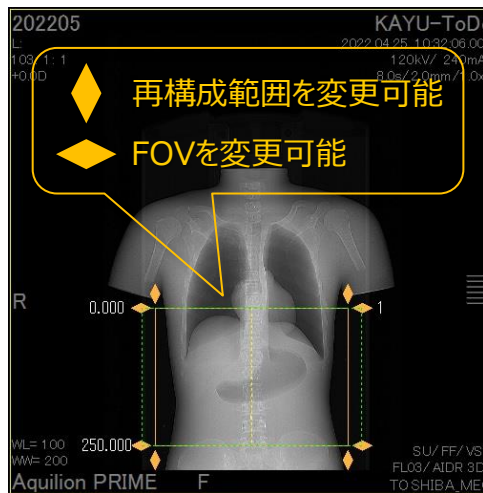


Image Selectorの下にスキャングラムが隠れています

※装置やバージョンにより仕様が異なる場合がございます。

ご使用の装置での仕様に関してはキヤノンCTアプリケーション担当までお問い合わせください。

痒い所に手が届くキヤノンCTのおすすめ機能



RawData画面

■ 違うEPで撮影した生データを続けて読み込み可能

頭部と体幹部を撮影した場合やReal Prep.を使う前にプレーンを撮影して画像確認まで行う場合などそれぞれ違うEPで撮影することがありますが、同じStudy内であれば頭部の生データ処理を行ったあと続けて体幹部の生データを読み込み処理が行えます。



RawData画面



複数行をドラッグして選択することで、一括して

- ・ SureIQ
- ・ 再構成範囲

・ FOVの大きさと位置を指定し再構成することもできます。

■ 消してしまったスキヤノグラムを再構成

また、ソフトウェアのVer.がV7.0以降は消してしまったスキヤノグラムもあとから再構成できるようになっています！



RawData画面

■ 搭載装置・Ver. 一覧

装置	Aquilion Start	Aquilion Lightning	Aquilion Lightning /Helios Edition	Aquilion Prime SP	Aquilion ONE	Aquilion Precision
適用	○	○	○	○	○ (V4.90~)	○
※スキヤノの再構成はV7.0~						

※装置やバージョンにより仕様が異なる場合がございます。

ご使用の装置での仕様に関してはキヤノンCTアプリケーション担当までお問い合わせください。